

明治22年熊本地震と熊本城

熊本城調査研究センター 木下 泰葉

はじめに

「熊本は地震が少ない」の幻想

→江戸時代だけでも熊本地方で発生した地震は26回

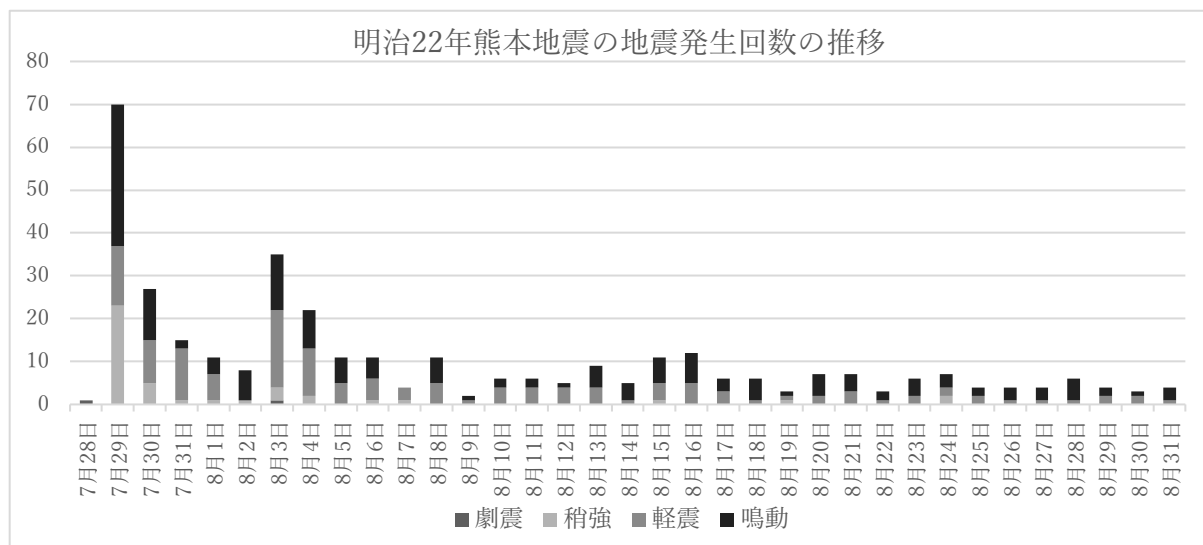
平成28年熊本地震が起きるまで…「熊本地域では過去120年間(M7以上の)地震は発生していない」

※130年前の熊本地震(金峰山地震)の記憶が継承されず

→地震を経験して、過去の地震を知る

1. 明治22年熊本地震の概要

- 発生日時 明治22年(1889)7月28日23時35分頃
- 推定マグニチュード 6.3(地震調査研究推進本部HPによる)
- 震源 金峰山付近
- 被害 死者21名、家屋全壊234棟、半壊229棟
- 地震発生回数 8月末までに358回発生



➤ 明治天皇の侍従派遣

7月30日 富小路敬直(侍従)と荻昌吉(非職侍従)の熊本・福岡両県派遣決定

8月1日 東京発

8月6日 午前8時三角港着。午後、熊本県庁・第六師団を訪問→「震災ニ関スル諸報告」

8月7日 飽田郡高橋町・小島町、熊本市京町・坪井町、飽田郡黒髪村を視察

8月8日 玉名郡高瀬町を視察後、午後3時に福岡県に出発

8月18日 視察結果を復命

8月24日 明治天皇から1,000円、皇后から300円の恩賜金下賜が決定

→県内の被災者に分配

2. 地震による熊本城の被災状況

- 「震災ニ関スル諸報告」（宮内庁宮内公文書館蔵）の発見
第六師団内（熊本城）の被害を報告するために作成
※従来の資料（新聞記事等）で把握できていなかった城内の詳細な被害を確認
※過去の熊本城の被災履歴のなかで、正確に被害規模を把握できる
- 明治22年熊本地震と平成28年熊本地震の比較

明治22年熊本地震		平成28年熊本地震	
		前震	本震
発生日時	明治22年7月28日23時35分頃	平成28年4月14日21時26分	平成28年4月16日1時23分
マグニチュード	6.3	6.5	7.3
震源	金峰山附近	布田川断層帯	布田川断層帯
熊本城被災			
重要文化財	7棟カ (壁破損、一部破壊)	10棟 (長堀一部倒壊、9棟瓦・外壁落下)	13棟 (倒壊2棟、一部倒壊3棟、他屋根・壁破損)
復元建造物	-	7棟 (天守閣瓦落下、壁ひび、堀崩壊など)	20棟 (倒壊5棟、下部石垣崩壊、屋根・壁破損)
石垣	崩落42カ所4,161.96㎡ 孕み出し20カ所4,680.72㎡	崩落6カ所 膨らみ・緩み多数	崩落・膨らみ・緩み517面23,600.52㎡ うち崩落50カ所、229面8,162.77㎡
地盤	崖崩落7カ所1,263.9㎡	陥没・地割れ多数	陥没・地割れ70カ所12,345㎡

*マグニチュードは地震調査研究推進本部HP (<http://www.jishin.go.jp/>) による。

*熊本城全体の石垣 973面、約79,000㎡

*特別史跡熊本城跡の土地面積 約512,000㎡

- 被害箇所 69 か所（石垣崩壊・石垣孕み出し・崖崩壊）
→うち 53 か所が平成 28 年熊本地震での被害箇所と重複（76.8%）
※江戸時代の修復箇所とも重複
※平成 28 年熊本地震の崩落面積は明治 22 年熊本地震の約 2 倍

3. 地震後の復旧

- 石垣・建物の修繕費 10 万 7583 円 39 銭が必要
→経常費 3 万 4032 円 85 銭を増額し対応 その他臨時修繕費や新営費の残額を流用
- 明治 28 年（1895）頃 本丸域の復旧完了？ 竣工写真の撮影

おわりに

明治 30 年（1897）9 月 10 日 石垣が突然崩落 原因は地震によって生じた膨らみ

→現在への教訓 膨らみに対する安全対策

【参考文献】

山中進「熊本地震の記録」『熊本の地域研究』成文堂 2015 年

『現代語訳 熊本明治震災日記』水島貫之著（明治二十二年）熊本市都市政策研究所 2016 年

『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編』熊本市 2019 年

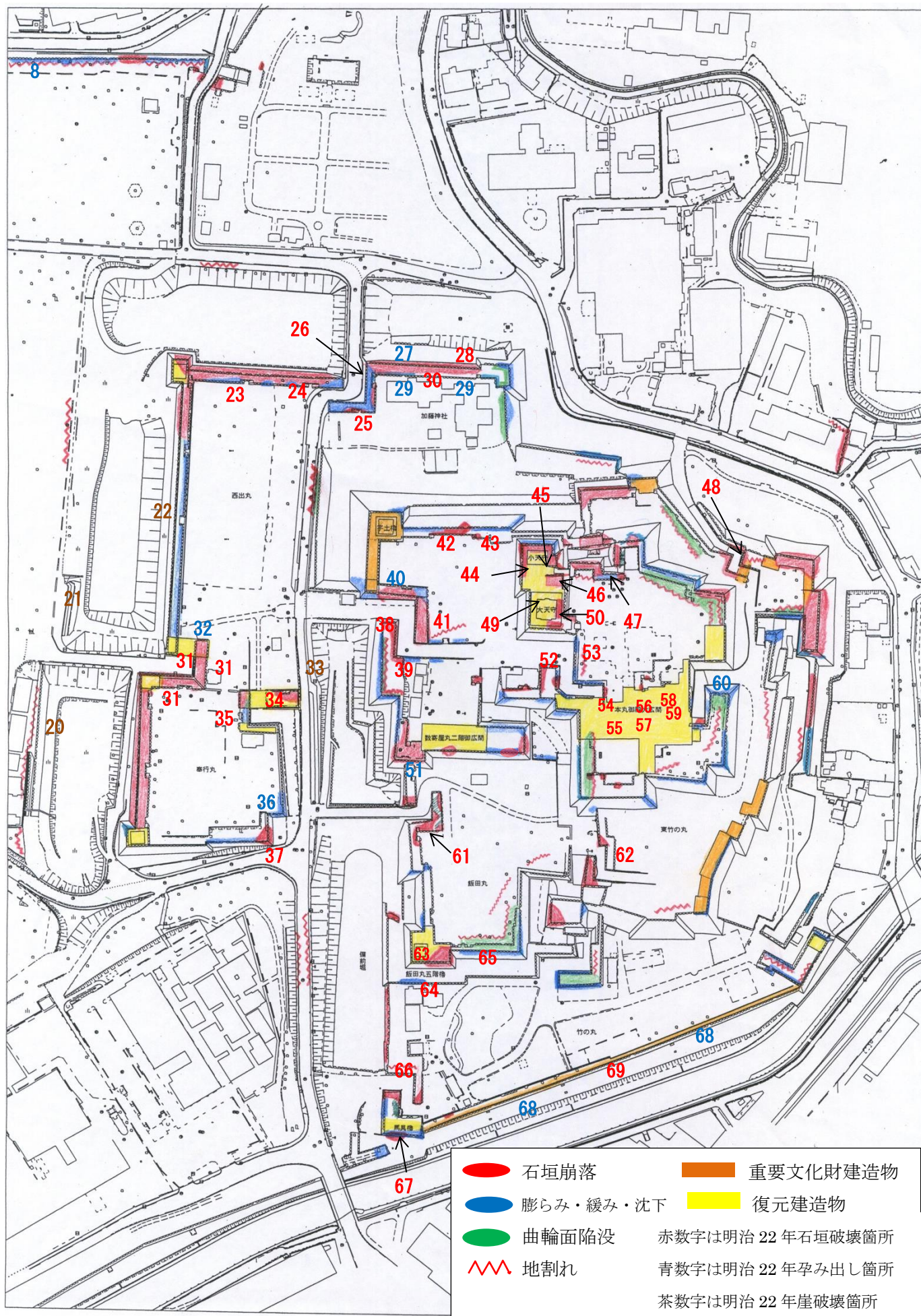
絵図中番号	地 点	被害内容	地震後の陸軍対応			平成28年地震被害
			修理	撤去	不明	
1	細川刑部屋敷跡西側石垣	石垣破壊	○			崩落、孕出
2	二の丸御門西側石垣外面	石垣孕み出し	○			崩落、孕出
3	同上	石垣破壊	○			崩落
4	二の丸御門南西石垣	石垣孕み出し	○			なし
5	二の丸御門北側石垣内面	石垣孕み出し	○			傾斜
6	二の丸御門東石垣	石垣孕み出し	○			崩落
7	百間石垣西端	石垣破壊	○			崩落
8	百間石垣	石垣孕み出し	○			崩落
9	監物櫓南西石垣	石垣孕み出し	○			崩落
10	二の丸西端石垣	石垣孕み出し	○			崩落
11	長岡預櫓台	石垣孕み出し	○			地割、陥没、孕出
12	長岡預櫓南側石垣	石垣孕み出し	○			地割、孕出
13	二の丸南西隅切岸	崖破壊			○	なし
14	古城北西隅切岸	崖破壊			○	なし
15	古城北西隅切岸	崖破壊			○	なし
16	古城正面口虎口石垣	石垣孕み出し	○			孕出、転落
17	古城正面古城橋袂石垣	石垣破壊	○			北詰石垣の崩落
18	古城正面口虎口石垣	石垣破壊		○石垣部撤去		—
19	古城正面口東石垣	石垣破壊	○			なし
20	二の丸東空堀切岸	崖破壊			○	地割
21	二の丸東空堀切岸	崖破壊			○	地割
22	西出丸西側石垣跡切岸	崖破壊		残る石垣は撤去か	○	復元石垣一部崩落
23	西出丸北側石垣 階段部	石垣破壊	○			崩落
24	西出丸北側石垣 階段部	石垣破壊	○			崩落
25	北大手門南側石垣内面	石垣破壊	○			崩落
26	北大手門東側石垣外面	石垣破壊	○			孕出
27	櫓方北側石垣外面(西方)	石垣孕み出し	○			崩落
28	櫓方北側石垣外面(東方)	石垣破壊	○			崩落
29	櫓方北側石垣内面(両側)	石垣孕み出し	○ 中途			孕出
30	櫓方北側石垣内面(中央)	石垣破壊	○ 中途			孕出
31	西大手門南石垣内面	石垣破壊	○ 中途			崩落
32	西大手門東石垣北面	石垣孕み出し	○ 中途			崩落
33	頬当御門南空堀西切岸	崖破壊			○	なし
34	南大手門東櫓台北・西・南面	石垣破壊		○石垣部撤去		復元櫓台の崩落
35	南大手門西櫓台南階段	石垣破壊	○			地割、孕出
36	奉行丸南東隅石垣	石垣孕み出し	○			地割、孕出、緩み
37	奉行丸南石垣	石垣破壊	○ 中途			隅角崩落
38	数寄屋丸御門石垣北・内面	石垣破壊	○			地割、崩落
39	数寄屋丸御門南石垣	石垣破壊	○			地割、崩落
40	宇土櫓続櫓南石垣	石垣孕み出し	○			崩落、孕出
41	数寄屋丸御門東石垣	石垣破壊	○ 中途			崩落、孕出
42	平左衛門丸北石垣内面	石垣破壊	○			内・外面とも崩落
43	御着部屋櫓台南面	石垣破壊	○			養生中につき不明
44	小天守穴蔵西内面	石垣破壊	○中途、焼損石を新材に転換			西・北・東内面の崩落
45	小天守玄関北側石垣	石垣破壊	○中途、焼損石を新材に転換			崩落
46	小天守玄関南側石垣	石垣破壊	○			崩落
47	トキ御櫓東石垣外面	石垣破壊	○			地割、孕出
48	不開門北脇石垣	石垣破壊	○			門前の全石垣の崩落
49	大天守穴蔵北内面	石垣破壊	○中途、焼損石を新材に転換			地割、孕出
50	大天守穴蔵玄関口北側	石垣破壊	○中途、焼損石を新材に転換			玄関・内面の崩落
51	数寄屋丸五階櫓台南面	石垣孕み出し	○			地割れ多数、崩落
52	耕作櫓門西櫓台東・北・西面	石垣破壊	○			崩落
53	天守方廊下石垣	石垣破壊	○			撤去跡の地割
54	闇御門東石垣	石垣破壊	○ 焼損石・新材使用			崩落
55	闇通路南面石垣	石垣破壊	○ 焼損石を新材に転換			なし
56	闇通路四辻北・西側石垣	石垣破壊	○ 焼損石を新材に転換			なし
57	闇通路四辻南・西側石垣	石垣破壊	○ 焼損石を新材に転換			なし
58	闇通路四辻北・東側石垣	石垣破壊	○ 焼損石を新材に転換			なし
59	闇通路四辻東・北側石垣	石垣破壊	○ 焼損石を新材に転換			なし
60	東三階櫓台北面	石垣孕み出し	○修理箇所未確認			陥没、孕出
61	西櫓門口南石垣(石門)内面	石垣破壊	○			崩落
62	東竹の丸西口北側石垣内面	石垣破壊	○			なし
63	飯田丸五階櫓台西・南・東面石垣	石垣破壊	○			崩落
64	要人櫓台南面石垣	石垣破壊	○ 中途			孕出
65	飯田丸南石垣	石垣破壊	○			陥没、孕出
66	山崎口北側南面石垣	石垣破壊	○			地割
67	馬具櫓台南面石垣	石垣破壊	○			孕出後5/10崩落
68	竹の丸南(長堀)石垣	石垣孕み出し	○			なし
69	竹の丸南(長堀)石垣中央	石垣破壊	○			なし

*1 地蔵門櫓台南面には明治の修復痕があるが被害箇所に含まれていない。

*2 崖破壊箇所には現在石垣による擁壁があるが、明治22年地震後によるものか特定が進んでいないため不明としている。

*3 添付絵図の被災箇所よりも修復範囲は広く、石垣孕み出し箇所も修復されている。

明治22年熊本地震による熊本城跡の被災箇所と経過



史跡熊本城跡の「平成28年熊本地震」と「明治22年熊本地震」の被災箇所（本丸周辺）